

学校関係者評価のまとめ

1 学校運営について

- コロナ禍でのオンライン対応が進んだので、今後進めてほしい。
- コロナ感染症の中学校行事が何事もなくできたのは、普段からの教職員の努力と研修結果だと思います。まだ、コロナは終息しないでしょう。大変ですが、これからも気を引き締めて頑張ってください。
- コロナ禍で様々な制限がある中、人権教育講演会などの動画配信や新たな手法でのアンケート実施等で保護者との連携に努めるなど、昨年に増して開かれた学校づくりが推進できている。
- 感染症対策について養護教諭を中心とした危機管理体制の整備がきちんとなされていて、安全で安心できる学校である。
- このコロナ禍、本当に大変だったことと思いますが、校長先生、教頭先生はじめ教職員の皆さんが、真摯に職務に取り組んでおられることが、アンケートから読み取れます。教職員の資質向上ではコロナが少し落ち着いたら、教員の本務である魅力ある授業の展開に個性を尊重した指導力の向上を図るための取組をぜひ推進していただきたいと思います。
- 不登校について今や小学校の不登校も珍しくないが対策が必要。
- 不登校対策に関する研修の充実は、最重要課題である。これを推進することが教職員の資質向上につながる。
- 食物アレルギー対応や感染症対応についての危機管理体制の整備に力を入れてくださっている様子、ありがとうございます。食物アレルギーの生徒さんは一人ずつ違っていま

すので、難しくわかりにくいところがありますが、よろしくお願いします。

- 教職員の超過勤務を改善していくには、取組の具体策の内容項目の見直しが必要である。
- 教育方針をホームページ等で情報提供することで保護者や地域と連携を取って教育活動を進めている。

2 生徒指導について

- 生徒指導により、社会や学校のルールについて十分な教育が行われるようお願いしたい。
- 予防と初期対応を重視した組織対応の生徒指導の取組の成果が出ている。保護者との情報共有を大事にしているのが良い。
- 不登校生徒の人数が多く、担任だけで対応が難しいのであれば、外部の専門家との連携も考慮した方がよいと考えます。
- 県内では不登校の子供が増加しているとのことですが、気になっています。
- ネットトラブルについても見えないだけに心配です。
- アンケートに、食欲がなく、吐き気・頭痛・不眠などが続く生徒があるようですが、本人はスクールカウンセリングを望んでいない状態のようです。学校も一生懸命に取り組んでおられる様子ですので、難しい問題ではありますが、どうか良い方向に向くよう応援させていただきます。頑張ってください。
- 外国籍生徒等への支援については、きめ細やかな対応がなされていて成果が出ているが、不登校生徒の増加が気になる。長期化・重症化を食い止める手立ての構築を切に願う。
- 社中学校の特色の一つに挙げられる清掃活動は、今年度も達成感や充実感を重視して工夫ある取り組みで成果を出している。

○登下校で出会う生徒が、気持ちよく挨拶してくれます。先日の下校時に、探し物をして
いる二人の生徒をほんの少しだけ手伝ったら、見つからなかったにも関わらず、二人と
もとても丁寧に礼を言い挨拶をして帰っていきました。

3 学習活動について

○1年生のスキー教室は実施できなかったが、トライやる、修学旅行は実施できてよかつた。

○コロナ禍でも、生徒が満足感を味わえるような行事を行われるようお願いします。

○コロナ禍の影響にもめげず、修学旅行・トライやるデイ・福祉体験の活動を大事にして
実施できたのは、教職員の熱意ある取組のおかげである。

○少人数クラスでの授業も引き続き行ってほしい。

○英語など個に応じてクラス分けした指導方法は、昔はなかったことで良い印象を持った。

○個に応じた学習指導では 数学は特に少人数クラスで実施していただくことを望みます。
学力の確実な定着には少人数の方が結果がはっきりと出ますし、つまづきを見つけやす
いと思います。

○少人数授業の効果を実感している生徒が多数いるのは、取組の成果である。その取組が
学力の確実な定着に繋がっていく。

○今年度最優先すべきであった ICT 機器の有効活用や危機管理に関する研修が、きちん
となされているのが良い。研究推進のあり方についての課題も明確化されており、次年
度の取組が期待できる。

○コロナ禍で、休校が続き、授業の遅れを取り戻すことが大変だったはずですが、アンケ
ートでは「学校の授業がわかりやすい」と子どもが言っているのポイントが上昇してい

ることは、先生方のご尽力の賜物であると思います。

- ICT の導入が一層進む中、ネット使用について保護者との連携が重要になってくるの
でしょうね。大変難しい課題だと思いたすが。

4 課題教育について

- 生徒の人権を大切にした指導により、人権や道徳などの人間として本当に必要な学習時
間を大切な教育と位置づけてほしい。
- 一人ひとりの生徒を大切にするために、支援を必要とする生徒のサポートファイル作成
に尽力し、有効活用できているのが良い。道徳授業を大事にして各学年でローテーショ
ン授業を行うなど指導力の向上に努めている。時事に合わせた授業の取組も良い。
- 「心のケアアンケート」で生徒の実態把握に努め、職員間の共通理解を通して人権課題
を明確にして向き合っているのが良い。
- コロナ禍でいろいろな制限があったり、配慮を要することが多かったりする中でも、様々
な取組がなされていること、特にコロナによる偏見等に対する指導が確実になされてい
ることは、学校に対する信頼の確立につながっていると思います。

5 望ましい集団づくり

- 3年生の引退試合や体育大会などコロナ禍でも実施できたよかった。
- ノー部活動の徹底は部活動の充実につながる。さらに望ましい集団づくりのため職員数
に見合った部活動数の見直しを行う必要がある
- 生徒の自主的な部活動が行われているようです。
- 生徒会が下校時の服装について検討を行ったり、週1回のあいさつ運動に努めたりして
より良いものへと改善に励んでいる姿が良い。

○全ての教育活動において 班活動一人一役をするという学校全体の基盤が出来上がっているのが良い。教師による「生徒へのほめ活動」で学級や学年の親和性を高めているのも良い。

○清掃活動を通して、環境について考えることを始めるのも良いと思う

○先生方のご尽力に感謝するばかりです

6 その他

○社4区 では三世代交流で餅つき大会等していますが、中学生になると出席する子供がない。

○小学生と違って中学生にもなれば、保護者以外の地域の人々はあまり関心を持って接する機会も無いように感じます。

○音楽担当教諭は飛沫飛散対策のための仕切りを透明ビニールシートで自ら設置して、合唱やリコーダーの指導を行っている。このきめ細やかな指導の工夫配慮は素晴らしい。この生徒を大切に思う姿勢は、校長先生や教頭先生の人間的な魅力を人柄が影響を与えていると思います。

○地域で出会う中学生が、気持ちの良い声で挨拶をしてくれるので、元気が出ます。指導の成果が出ていると思います。